

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第33回定例会 (平成27年9月定例会)

議案等の審議	2	一般質問(4人)	8
平成26年度決算	4	常任委員会所管事務調査	12
決算特別委員会	6	編集後記	12

議会広報
平成27年11月
第17号

防災訓練 平成27年10月18日 旧南小学校



第32回 平成27年8月 臨時会

8月4日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提出案件

売買契約の締結 1件

●ひばり野公園駐車場用地取得(113台分)

・五戸町大字豊間内字地蔵平

1709万7千円
3053㎡

工事請負契約の締結 1件

●町営住宅ひばり野団地建設(8世帯分)

・沢田・山耕特定建設工事共同企業体

1億4040万円

審議の結果

全員賛成で可決

第33回 平成27年9月 定例会

9月10日から16日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 12件(うち議会議案 2件)			
原案可決	同意	承認	認定
8件	2件	0件	2件

町長提出案件

報告 3件

●平成26年度青森県新産業都市建設事業団の決算について

●平成26年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

●平成26年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

報告に審議はありません

協議 1件

●青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議について

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 2件

●五戸町個人情報保護条例の一部改正

・マイナンバー制度に伴う改正。

●五戸町手数料徴収条例の一部改正

・マイナンバー制度に伴う改正。

質疑

●質問 大久保議員

マイナンバー制度のセキュリティ対策は。

答弁 佐々木総務課長

報道等からも不安を感じている方が多いことは承知している。国の対応策に合わせ万全を期したい。

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 3件

●一般会計補正予算(第3号)

・補正額(増額)
4億3099万6千円
・予算総額(補正後)
94億4752万3千円
主な内容

・病院事業会計負担金
2億6073万6千円

・ひばり野公園駐車場拡張工事費
5754万8千円

・(株)倉石地域振興公社出資金
1000万円

質疑

●質問 若宮議員

子育てアパート等入居費助成事業費補助金制度施行日前に入居して対象にならない方に対しての対策は。

答弁 三浦町長

どこかで線をひかなければならないため難しいが、なにかできないか考えたい。

質問 三浦專治郎議員

消防団加入促進モデル事業委託金とは。

答弁 佐々木総務課長

国のモデル事業。講師の指導の下、町民と消防団員等が災害時の疑似体験を行うもの。

●介護保険特別会計補正

予算(第1号)
補正額(増額)
657万円

●病院事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入
1億7920万6千円
増の28億8472万5千円
主な内容
一般会計からの繰入金
・収益的支出
653万円増の28億7403万2千円
施設内機械修繕費

●審議の結果

・資本的収入
企業債430万円、出資金3076万4千円を追加し2億8722万9千円
・資本的支出
建設改良費383万8千円を追加し4億6885万8千円

陳情の審議

●労働基準法及び労働者派遣法「改正」に反対する意見書採択の陳情
陳情者
青森県労働組合総連合
総務常任委員会へ付託

●審議の結果

不採択

委員会付託とは

本会議で議題となつている議案などについて、所管する委員会などへ詳しい審査や調査を委ねること。

議会提出案件

意見書案 2件

●外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書について

衆参両議院議長及び関係閣僚あて

●政府による米価対策を求める意見書について

衆参両議院議長あて

人事 2件

●人権擁護委員の推薦

◎高谷善信氏 (67歳)



大字倉石又重字太田

●固定資産評価審査委員の選任

◎川崎弘司氏 (68歳)



大字切谷内字切谷内村

●審議の結果

全員賛成で同意

質問 三浦專治郎議員

農林水産業費の機構集積協力金とは。

答弁 畑山農林課長

農地中間管理機構に農地を貸借する方に対し協力を支払う制度で、想定以上に利用者があり補正するもの。

質問 高山議員

情報対策費にクラウド利用料とあるがセキュリティ対策は。

答弁 小村企画振興課

マイナンバー制度のセキュリティ対策と同様に万全を期したい。

●審議の結果

全員賛成で認定

※審議内容は別ページに掲載

平成26年度決算

<財源構成>

自主財源 25.2% (町税など)	依存財源 74.8% (地方交付税など)
-------------------------	----------------------------

各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	101億1895万円	98億1336万円	3億559万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億706万円	4億535万円	171万円
	国民健康保険	25億2470万円	24億1645万円	1億825万円
	介護保険	23億8666万円	22億7017万円	1億1649万円
	下水道事業	4億5374万円	4億5163万円	211万円
	農業集落排水処理施設事業	1億5333万円	1億5180万円	153万円
	簡易水道事業	1億640万円	1億465万円	175万円
	住宅用地造成事業等	2600万円	1895万円	705万円
	ケーブルテレビ事業	2641万円	2446万円	195万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	27億2839万円	28億495万円	△7656万円	
資本的収支	2億2945万円	4億2872万円	△1億9927万円	

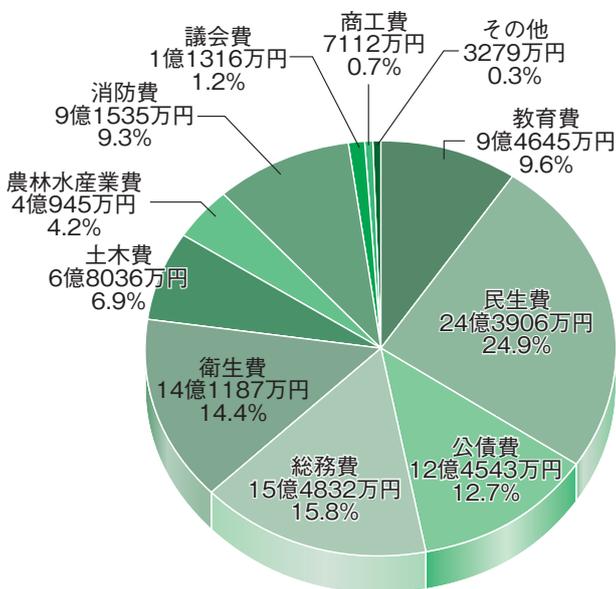
平成26年度決算状況

一般会計の自主財源である町税や使用料などは25.2%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が74.8%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)と借金(町債)に頼っています。

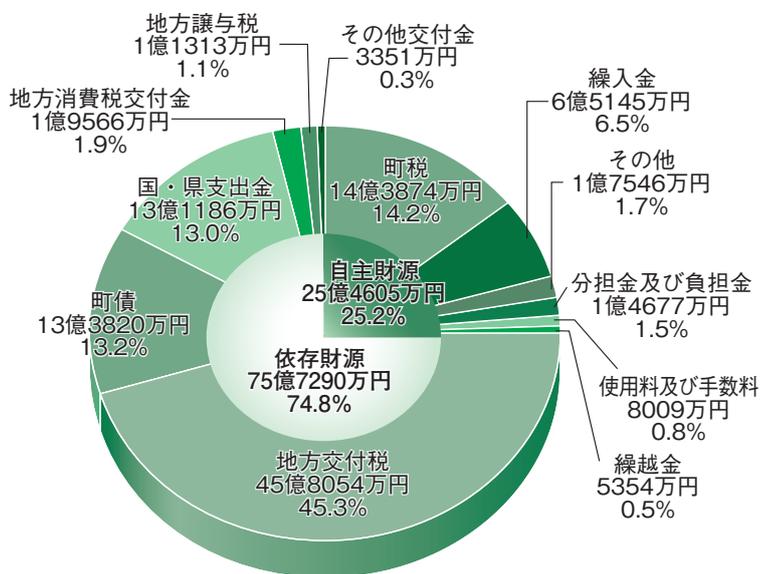
歳入歳出ともに前年度に比べ約13億円の減額となり、主な要因は、五戸小学校校舎や体育館などの改築が完了したことによるものです。また、人件費や公債費(借金返済)などの義務的経費は、歳出全体の36.5%を占め、前年度に比べ4千67万円の増額となりました。

一般会計決算

歳出



歳入



町税等の未収金の状況

未収金(滞納)総額
3億8612万円

平成26年度末の未収金は、3億8612万円で、町税と国民健康保険税で86.5%を占めています。

また、前年度末に比べ5299万円少なくなっていますが、そのほとんどが不納欠損処分によるものです。

区 分	26年度末	25年度末	増減額
町税*	1億3500万円	1億4918万円	△ 1418万円
保育料負担金	68万円	151万円	△ 83万円
五戸台地負担金	706万円	1107万円	△ 401万円
給食費保護者負担金	239万円	231万円	8万円
ブドク放牧場使用料	148万円	71万円	77万円
町営住宅使用料及び共益費	136万円	130万円	6万円
土地貸付料	417万円	526万円	△ 109万円
奨学資金償還金	955万円	1081万円	△ 126万円
後期高齢者医療保険料	242万円	946万円	△ 704万円
国民健康保険税	1億9904万円	2億2615万円	△ 2711万円
介護保険料	470万円	421万円	49万円
下水道受益者負担金・使用料	817万円	823万円	△ 6万円
農業集落排水分担金・使用料	246万円	246万円	0万円
簡易水道使用料	649万円	581万円	68万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	115万円	64万円	51万円
合 計	3億8612万円	4億3911万円	△ 5299万円

*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額
※翌年度繰越分及び未還付額は除く

不納欠損処分とは
滞納者が死亡し相続人もいない、行方不明などの理由で滞納分の徴収ができなくなった場合、その金額を消滅させること。

町債(借金)の状況

会 計 名	26年度末
一般会計	113億 835万円
下水道事業特別会計	27億9440万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	8億9995万円
簡易水道事業特別会計	2億4072万円
五戸町病院事業会計	34億1834万円
合 計	186億6176万円
町民1人当たり	101万円

町債
町財政の借金である町債合計は、186億6176万円で、前年度に比べて1億103万円減額となりました。

「借金 町民一人101万円」

基金
一方、貯金である基金合計は、34億5179万円で、前年度に比べて3億2596万円増加となりました。

「貯金 町民一人18万円」

基金(積立金)の状況

基 金 名	26年度末	基 金 名	26年度末
財政調整基金	14億2933万円	肉用牛一貫経営支援基金	1007万円
減債基金	4億2907万円	地域振興基金	10億8677万円
土地開発基金	1億4565万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	399万円
泉山教育振興基金	57万円	過疎地域自立促進特別事業基金	1億 801万円
木村秀政教育振興基金	182万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	7871万円
公共施設等整備基金	41万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	493万円
まちづくり特別事業基金	437万円	介護給付費準備基金	4732万円
地域福祉基金	90万円	下水道整備基金	2532万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	農業集落排水事業減債基金	227万円
人材育成基金	4494万円	ケーブルテレビ事業基金	2582万円
		合 計	34億5179万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

決算特別委員会

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：高山浩司議員、副委員長：松山泰治議員)を設置し、平成26年度の一般会計決算、特別会計決算及び病院事業会計決算について審査しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。

主な質疑

一般会計歳入

徴収率について

問三浦専治郎委員

税等の徴収率が上がったようだが要因は。

答金子税務課長

平成25年度に比べ上がった。県の滞納整理機構へ徴収をお願いしながら進めてきた。今後も連携し努力していく。

未収金について

問三浦専治郎委員

ブドロク放牧場使用料の未収金の対応は。

答畑山農林課長

滞納者には少しずつでも納付していただいている。中には現在も利用している滞納額が増えている方がいる。対応を考えたい。

一般会計歳出

選挙費について

問若宮委員

立会人の選任はどのように行っているのか。また、候補者と立会人の関係を把握しているのか。

答金澤選挙管理委員長

前任者や自治会長等から推薦していただいている。候補者との関係は把握していないが、運動員であることを届け出た方には遠慮していただいている。

倉石温泉運営費について

問中川原委員

倉石温泉の利用状況は。

答鈴木福祉保健課長

平成25年度は4万478人。平成26年度は4万215人が利用している。

敬老会事業について

問三浦専治郎委員

米寿の88歳の方への記念品はどのように決めているのか。

答鈴木福祉保健課長

委託先の社会福祉協議会で協議して決めている。現在はカタログから好きなものを選ぶという形をとっている。どのようなものが最適なのかこれからも協議していく。

特定健診受診率について

問若宮委員

特定健診受診率は。

答鈴木福祉保健課長

平成26年度は前年度から5.9ポイント増の26.3%になる見込みで、一部無料化や日曜日健診などの効果が出てきているものと思っている。今後も受診率向上に取り組みしていく。

誘客宣伝事業費補助金について

問三浦専治郎委員

誘客宣伝事業費補助金とは。

答小村企画振興課長

産業と文化まつりのふわふわバルーンの借上と図書館のイルミネーションへ使われている。

地域振興力向上対策支援事業費補助金について

問三浦専治郎委員

地域振興力向上対策支援事業費補助金とは。

答小村企画振興課長

国際ミュージックフェスティバルの開催費用と5つの神話というお菓子の開発に使われている。

空き家再生等推進事業費について

問 三浦専治郎委員

空き家再生等推進事業費とは。

答 山下建設課長

県道五戸六戸線盛立部分の除却をした際、周辺の民家から被害報告や苦情があった場合の調査費用であったが、なかったため使わなかった。

未収金について

問 三浦専治郎委員

未収金の対応は。

答 山下建設課長

滞納者には分割とか少しずつでも納付していただくようお願いしている。今後も努力していく。

病院事業会計

会議等について

問 和田委員

会議、打合せ、研修会等はどの程度あるのか。

答 蝦名五戸総合病院長

定期的なものから、そうでないものと頻繁にある。五戸町での開催の際には出来る限り町内の店等を利用する方向で動いていく。

利用率について

問 中川原委員

病床の利用率低下の原因は。

答 蝦名五戸総合病院長

長く入院させないという国の方針が大きな原因と思われる。

繰越金について

問 尾形委員

繰越金に消費税はかかっているのか。

答 山下建設課長

かかっていない。

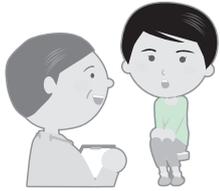
次の施策について

問 大久保委員

上市川団地完売後の次の施策は。

答 三浦町長

まだ提案できるような段階にない。



平成26年度決算に基づく財政の健全化判断比率の結果

	①実質赤字比率 主に一般会計でどれくらいの赤字があるか %	②連結実質赤字比率 町全体(一般会計、特別会計、病院事業会計)でどれくらいの赤字があるか %	③実質公債比率 借金の返済にどれくらい支払っているか % 【24・25・26年度の平均】	④将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額がどれくらい見込まれるか						
早期健全化基準	14.31以上	19.31以上	25.0以上	350.0以上						
財政再生基準	20.00以上	30.00以上	35.0以上							
五戸町	赤字なし	赤字なし	14.1	65.6						
備 考	赤字はありませんでした。	赤字はありませんでした。	前年度に比べ2.0ポイント減少。	前年度に比べ0.7ポイント減少。						
	早期健全化基準の基準値を超えた場合、財政健全化団体として自主的・計画的な財政の健全化が求められ、さらに悪化すると財政再生基準で審査される。									
実質公債比率の推移 【単年度】	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	21.3	24.7	24.9	24.4	21.5	19.2	18.4	16.4	13.6	12.3

**平成27年9月定例会
議会傍聴者
アンケート集計表**

傍聴者

延べ人数 4人

回答者数 4人

○性別は? 男性 4人

○年齢は? 50歳代 2人

60歳代 2人

○議会を傍聴したことがありますか?

初めて 1人

1・2回 2人

3・5回 1人

○五戸ちゃんねるで議会の一般質問を見たことがありますか?

ある 1人

ない 3人

○このへ議会だよりをご覧くださいになっていますか?

毎号 3人

いない 1人

○議会・議会広報に対する意見・要望など
答弁側は、国や県の方針を実施することに主眼があり、町独自の主体的な取組みが弱いように感じました。また、質問者ももっと多くても良いと思います。

9月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



根森 隆雄 議員

答二浦町長

町総合振興計画でも掲げているように、ひとり親家庭などの福祉の充実のために「ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進」、「子供たちの健全育成を推進する」ことを基本方針に掲げ、母子・父子世帯への支援対策を展開してきたが、ひとり親家庭を取り巻く就業環境・生活環境は以前にもまして厳しいものとなっており、引き続き支援する施策に取り組む必要があると考えている。

◆ひとり親児童・生徒への援助策は
町長 町総合振興計画に則り継続して取り組む

質問

ひとり親児童・生徒への援助について、新聞に非常に大きく記事が載っており、扱い方から見ても大きな問題という事が分かる。

内容は、ひとり親世帯の低収入と支援制度の周知不足である。

昨年国では子供の貧困解消に向けて動き出し、県でも本腰を入れ始め、町でも対策をとると思いが、町独自のひとり親世帯向け共通商品券の発行や返済不要の奨学金制度など、国、県を上回る対策を講ずるべきではないか。

町総合振興計画でも掲げているように、ひとり親家庭などの福祉の充実のために「ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進」、「子供たちの健全育成を推進する」ことを基本方針に掲げ、母子・父子世帯への支援対策を展開してきたが、ひとり親家庭を取り巻く就業環境・生活環境は以前にもまして厳しいものとなっており、引き続き支援する施策に取り組む必要があると考えている。

当町においては、主な支援として町独自の対策は講じていないが、国、県の事業等を活用しながら、「児童扶養手当」、「遺児援護対策事業」、「五戸町要保護及び準要保護児童生徒援助費」などで支援・援助してきた。なかでも、「ひとり親家庭等医療費助成事業」に関しては、ひとり親家庭の子供373人、親241人が助成を受けるなど経済的負担と精神的不安を軽減している。また、平成27年7月からは県が事業主体となつての「こどもサポートゼミ開催事業」、更に平成28年度厚生労働省において「子供の貧困対策とひとり親家庭対策の推進」に向けた政策を実施するため予算要求している。

◆農業振興策は

町長 まちづくり計画の推進のほか、青年就農者への支援拡大を考えている

質問

南部町では紅玉の通年販売のための施設を建設、八戸市では薬用作物の企業との共同研究などのニューズが続いている。それ以外で秋田では既に企業からの委託生産まで進んでいる。

町でも、露地栽培の共同研究とか産物の作り方売り方の工夫など何か対策を進めるべきではないか。

答二浦町長

農業振興の施策としては、これまで「合併まちづくり計画」に基づき、八つのプロジェクト事業を実施してきた。

現在は45歳未満の新規就農者に対し、就農前の

研修期間の2年以内、及び経営が不安定な就農直後の5年以内について、所得を確保するために年150万円の給付金を給付しているが、更に支援の拡大を考えている。町に適した新たな作物の導入や特産品の品質向上に向けた取組が必要と考えるが、施設や人材などの問題もあるため関係団体と連携しながら進め方の研究をしていきたい。



りんごもぎ

一般質問

平成21年12月13日夜から明朝にかけて発生した

答三浦町長

6年前に発生した現金盗難事件はまもなく時効になるが、現在の捜査状況は。

質問

町長 進展していない

◆(株)倉石地域振興公社の盗難事件の現在の捜査状況は



川村 浩昭 議員

盗難事件は、当時は鑑識なども来て、しっかり対応して貰い、警察でも確信に迫るところまでいったようだが、証拠不十分で検挙には至らず、その後何もししていない訳でもないが、新しい情報等がなければ進まない状況になり、いまだに被疑者

の検挙には至っておらず、現在も捜査は継続している。

質問

正直なところ、期待できない状況にあるのかと思ってしまうが、古い情報や新しい情報など、どんな些細な情報でも収集して事件解決に向け警察に協力するよう要望する。



株倉石地域振興公社

◆(株)倉石地域振興公社の今後の方向性は

町長 経営安定に努めたい

質問

1000万円の増資願いがあつたようだが、血税が使われるのだから、しっかり考えなければならぬ。町として今後どのように進めるのか。

答三浦町長

運営を開始してから20年以上経過し施設の老朽化が進み、改修等に費用がかかる事や売上げが伸びないなどで、残念ながら経営状態は良いとは言えないが、以前よりは徐々に良くなっている。また、地域の農業振興には寄与していると思っており、特産品の維持や農産物の生産に携わっている方々を思うと、町としては、将来性を重視して、さらに農業振興に寄与してほしいことから、当面は支援していくこともやむを得ないと考えている。

質問

以前に比べれば徐々に良くなっているようだが、背景にはそれだけ町が出資しているというところで、町から要望とか指導とか行っているのか。

答三浦町長

なんとか赤字をと再三やっている。売上げを上げるため東京に売り込みに行くなど販路拡大とPRも再三行っているが、なかなか簡単ではない。今後は経営コンサルタントなど外部からの意見を聞くなど経営安定のために努めたい。



夢の森ハイランド直売所



高山 浩司 議員

◆ビニールハウス建設に町の補助を

町長 今後見定めていく

質問

農地中間管理機構による、五戸町の農地の集積集約の状況はどのようになっているか。

答 三浦町長

8月末現在で、借り手48人、借受け希望面積452・5ha、貸し手69人、48・4haとなっている。

る。機構との貸借成立状況は、借り手12人、貸し手16人の間で、約9.8haの農地の貸借が成立している。

質問

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の中で、具体的な経営の指標を掲げているが、現在の達成率は。

答 三浦町長

平成22年度から平成26年度までの5年間、認定農業者の農業所得が380万円あるいは500万円を達成している割合は、216人中91人で約42%。年間労働時間について、2000時間以内は38人で全体の約18%。農業所得と労働時間の両方を達成している方は、

16人で全体の7%である。

質問

基本的な構想の中で、ハウス栽培経営を中心に高収益性を図るとあるが、ハウスの建設には経費がかかるので、農家への負担が大きい。町としての支援策は。

答 畑山農林課長

県及び国の補助があるので、それらの活用を考えている。五戸町の今後の農業の在り方を考慮し、町独自の補助が必要か見定めて検討していく。

◆スポーツクラブを推進すべき

町長 「五戸スポーツクラブ」を核に進めたい

質問

今後5年10年先は、もっと生徒数が減ること、は明らかとなっていて、ますます部活動の環境は厳しくなることは間違いない。この様な状況を町としてはどのように考えているか。

質問

今後の生徒の運動は、学校単位の部活動から、広域のスポーツクラブに移行する方向になると思われるが、町としてはどのように考えているのか。

答 高橋教育長

部活とスポーツクラブが一緒になって、大会に出られるように中体連の規約を変更してもらおう、地方から全国規模で働きかけていかなければならない。いずれはスポーツクラブの方向に向かわざるを得ないと考えている。

答 三浦町長

正規のスポーツ活動が出来ない状況は、望ましくないと考えている。単独校でチーム編成ができない場合、中体連では救済措置として、複数校での合同チームとして参加を認めている。



ビニールハウス

一般質問

質問
建設工事等の入札の際には指名審査会を行っているが、物品購入については行っていない。透明性と公平性を期すためにも、物品購入にも指名審査会を設けるべきではないか。

質問

町長 検討する

◆物品入札の指名審査会を設けるべきでは



尾形 裕之 議員

答二浦町長

たしかに、金額が大きい場合や新たに参入したい業者が現れた場合など、現在のように担当者での調査や判断が難しいのかもしれない。

今後は、登録制度を設けケースにより審査会に付することを検討する。



バス



五戸総合病院

◆委託バスをスポ少活動でも利用できるように

町長 利用できる

質問

委託バスをスポーツ少年団でも利用できるのか。

答二浦町長

委託バスの利用については、要項に定める許可団体が利用可能で、今年4月からはスポーツ少年団も対象とし、更に15名以上の任意団体でも利用可能とした。

◆官民の公衆浴場が共存できる措置を

町長 入浴料負担軽減等を協議する

質問

法律に「地方公共団体は公衆浴場の経営安定を図る等」とあるが、町はこのことを充分に考え官民の公衆浴場が共存できる措置を講ずるべきではないか。

答二浦町長

県内外においては健康増進のために高齢者への入浴料の補助等を実施し、経済的負担の軽減と浴場の利用促進を図っている例があるので、参考にしながら協議していく。

◆五戸総合病院の改善は

院長 努力していく

質問

医師、看護師の対応の改善はどうなったか。

質問

病児保育もつくるべきでは。

答蝦名院長

努力している。今後もさらに努力していく。

答蝦名院長

検討する。

総務常任委員会
所管事務調査

10月21日実施

調査内容

○旧又重小学校

○空き家の実態

○旧豊間内小学校

関係者から現在の管理状況についての説明を受けながら、現地調査を行いました。



空き家を調査

経済常任委員会
所管事務調査

10月21日実施

調査内容

○県道五戸六戸線

「盛立地区」

○国道454号線

「豊間内地区」

関係者から現在の状況についての説明を受けながら、現地調査を行いました。



盛立地区を調査

民生常任委員会
所管事務調査

10月5日実施

調査内容

○ひばり保育園

○特別養護老人ホーム

「ひだまり」

○特別養護老人ホーム

「素心苑」

関係者から現在の管理運営状況についての説明を受けながら、現地調査を行いました。



ひばり保育園長より説明を受ける

編集後記

議会だより第17号いかがでしたでしょうか。

第1号発行から約4年が経過し、年4回の議会定例会のたびに3回程度委員会を開き、表紙をはじめとする掲載写真の検討や、見出しの決定と誤字脱字のチェック等様々な作業を行い、少しでも見やすく分かりやすくをモットーに努力してきました。

また、年に一度は青森市での議会広報の研修会に出席し、より良い広報となるよう研究しています。

最近発行までに要する期間を2週間ほど縮めることができている。

今後も更なる向上に向けて努力していきますので、ご愛読とご意見よろしくお願ひします。

委員長 根森 隆雄

広報常任委員会

委員長 根森 隆雄
副委員長 高山 浩司
委員 高宮 佳一
委員 若宮 泰治
委員 松山 良一
委員 沢田 雅俊
委員 柏田 俊哉

次回の広報は、平成28年2月発行予定です。

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月中旬開会予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。